

連携事例 1

協同組合所沢清和会



連携企業数 2社
業種 廃棄物処理業
連携の類型 地域における面的な連携
(同業者)

概要

連携体の概要を教えてください

浄化槽の清掃を定期的実施し快適な生活環境を守る《ラピュア》の業務と、所沢市内の一般家庭のゴミの収集業務を受託している《ピュアライン》の業務を通じて、皆様の快適な生活環境支援に貢献しています。

連携体を組成する各事業者が業務を停止すると、地域の生活環境に多大な支障をきたすこととなります。

きっかけ

連携事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください

令和元年及び令和3年の水害を踏まえて、災害対策の重要性を再認識しました。地域住民の生活基盤を守っていくためには個社だけでなく、地域の同業者で連携する必要があるとの考えから、災害への対応能力を向上することを目指し、本計画の策定に踏み切りました。

態様・特徴

態様と特徴を教えてください

(地域における面的な連携) 連携企業2社:(株)タカヤマ、加藤商事(株)

所沢市の一般廃棄物収集運搬業者が集まった連携であり、参加事業者は、所沢市内に事業所を有しています。また所沢市とも災害時には連絡を取り合い、家庭ごみ・汲み取り・災害ごみの収集等の協力・調整先として連携を図ることとしています。

苦労

計画策定で苦労したこと、その解決策を教えてください

- ・ 二人乗車が必要な作業車の運行が困難となることが予想されるため、通勤手段に応じて相互融通する計画を策定しました。
- ・ 連携事業者間における支援を実施するため、災害発生時には、幹事会社所沢清和会を中心とした支援連絡会議(平時は月次会議という名称で、災害等に備えた計画策定、訓練実施時の調整機関としての役割を担う)を設置します。
- ・ 設備、機器や衛生用品等の管理は個社管理とし、要請依頼書で融通し合うこととします。
- ・ クラウド化を推進するため、連携事業者の情報保護方針(方法・場所・頻度)を確定します。

連携体内外の変化

連携事業継続力強化計画を策定したことで連携体内外で変化したこと

被災していない他社の設備を利用することや、代替業務をする取り決め(要請依頼書による)を協議しています。

期待効果

連携事業継続力強化計画を策定したことで期待される効果

被災連携事業者の復旧を支援するため、被災していない連携事業者は、必要に応じて復旧支援のための人員・機材を提供することなどの役割分担を具体的に計画する予定です。

進 捗

策定した連携事業継続力強化計画の進捗を教えてください

- 被災時や感染症が拡大した場合は、想定外の被害が生じるおそれがあるため、市が中心となって支援業務を担う規定等を設ける予定です。
- 各事業者は本計画に基づき、災害発生時に施設や地域の被害状況の情報提供を行い、状況に応じて施設の融通や代替業務の実施、さらには行政との協業を進めて行く予定です。
- 所沢警察署とは災害時協定を締結済みです。(仮設トイレの汲み取り業務)
- 設備、機器の管理については、各社が管理し、その結果を所沢清和会に報告します。
- 重要情報の保護は、連携事業者より重要情報を受け、管理状況を把握するよう検討中です。

感 想

連携事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

連携企業各社との協力体制が強固になってきました。

連携部分の具体策が明らかになり、今後の詳細な計画策定の礎となっています。

お 薦 め

計画の策定を他の連携体に進めるとしたら

計画を策定することにより、連携企業の危機意識が高まります。

紹介者からの一言

連携した機関からのメッセージ

【埼玉県中小企業団体中央会 川越支所】

連携型の強化計画は、複数の事業者が連携して相互協力体制を計画するもので、まさに組合が目指していくものだと思っております。そういった意味でも今回の当組合の策定は、模範になる事例であり、今後他組合への大きな波及効果が期待できます。

